



郵便
報知新聞
 第六百廿一號

山形縣下山形町の旅人宿後藤屋又兵衛の
 似ゆる色紙の心約を狂ひに美太夫語
 東京女逗留世に別際で仮寐の夜
 語り引越して有頂天と終り二人は連弾
 故の跡に持小舟横濱(心)舟の振方
 途の追の盗金もい果せし素より浮薄
 の女をれ尻に枕うけて逃走するま引
 妻古登の年若られ自操正しく夫の
 念と捜索せんと國許を幾足して東京
 馬喰町に宿を需め淺草寺觀世音祈
 念の路傍に雇はる人力車まか容貌と
 見合す途端の表裏して六年以前家出
 せしまは怒ふ形をねむ且枕ひ且寝
 棧店に伴ひ衣服を求め首尾よく歸國
 よ及びしとぞ 花柳誌



南浜町十四番地 小舟町三丁目
 月岡米次郎画 土番地熊谷庄七

